

## ☆ ボランティアさんの一言 ☆

今月はくらぶちの星天をご案内できるかな～？今回は惑星名のお話しを。惑星には神々の名がついています。木星は全能の神ゼウス。土星はゼウスの父クロノスで天王星はその父ウラノスになります。海王星はゼウスの兄弟で海の神ポセイドンです。ギリシャ神話やローマ神話に由来しています。では星空の下で皆様とお話しするのを楽しみにしています。是非遊びに来て下さいませ。(^-)-☆

土星の輪等どんなリクエストでもどうぞ！

(ぐっさんより)

開館時間：15：00～21：30

☆ 10月の見頃の時間は19:00ごろです ☆

↓ 当日の天候はWeb、またはFacebook・Twitterにて ↓



Web



Facebook



Twitter



Instagram

#くらぶちこども天文台



くらぶちこども天文台  
KURABUCHI KODOMO OBSERVATORY

〒370-3403 群馬県高崎市倉淵町水沼2930番 TEL：027-386-6837

※ お天気などご不安な点ありましたらお気軽にお電話ください ※

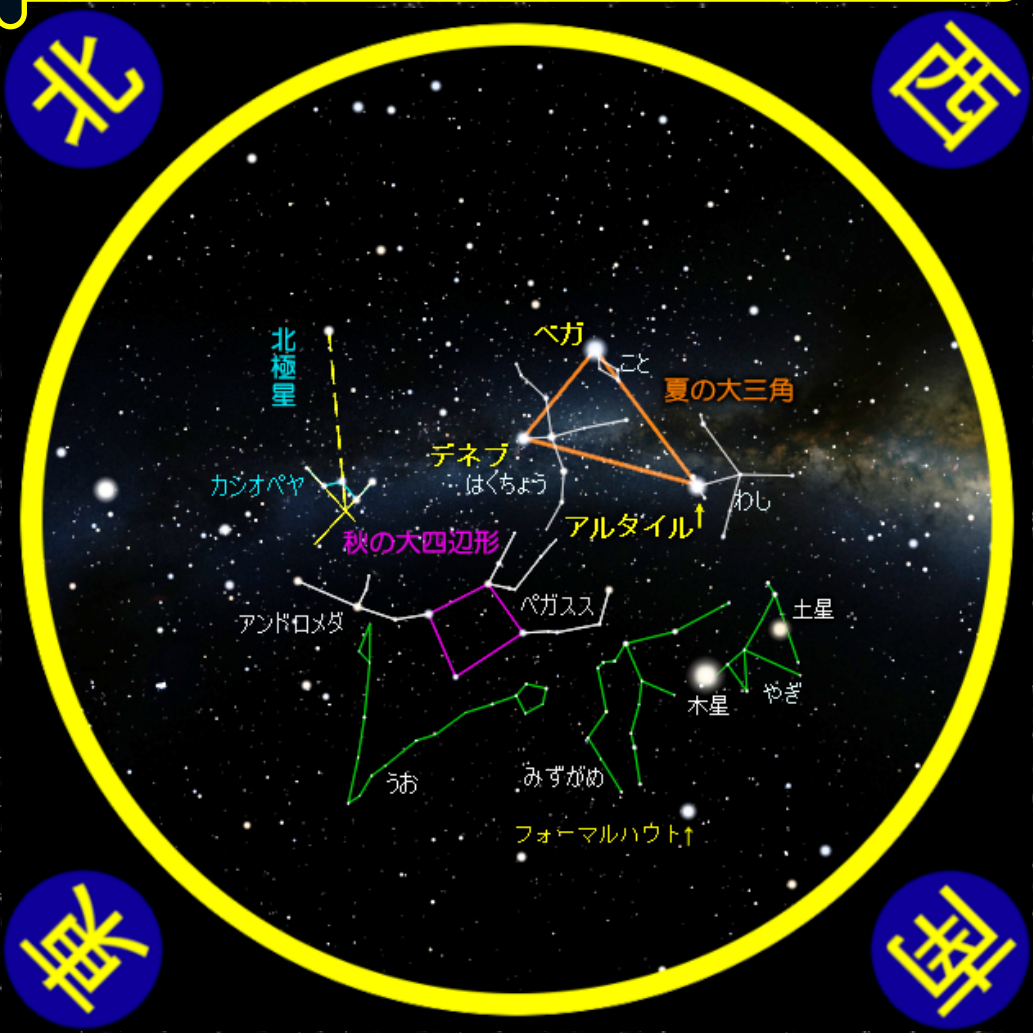
# くらぶちこども天文台

## 2021★10月の星空

かなり涼しい風が吹いてきました。この季節の星空は暗い星が多いので、なかなか市街地から見上げるのが難しくなるかもしれません。それでも西の空にはまだ夏の大三角を探ることができ、秋の四辺形も見つけやすい頭上に昇ります。また、秋が深まるごとに、天文台での夜は次第に寒くなってきます。ぜひ、暖かい上着をお持ちいただき、倉淵の暗闇だからこそ見える星々に思いをはせてみませんか？



# 今月の星座



Stellarium 0.19.0./https://stellarium.org/ja/より  
 誕生星座は、【やぎ座】【みずがめ座】【うお座】が見頃になります。  
 『夏の三大角』が目立ちますが、かなり西の空へと傾き、『秋の大四辺形』  
 が高く昇り始めます。秋の夜空は明るい星が少なく、星座を探しにくいですが、この『秋の大四辺形』を頼りに【ペガサス座】のカタチや【アンドロメダ座】などをたどってみましょう！

# 星空トピックス『片目でのぞく』

天体観測に欠かせない、望遠鏡。でも片目でまっすぐのぞくのは意外と難しいですね。いざのぞこうとしたとき「あれ？真っ暗でなにも見えない…」なんて経験はありませんか？

## ◇ たくさん望遠鏡をのぞいて“なれ”よう！

楽な姿勢で、小さな穴から外をのぞくイメージでのぞいてみてください。  
 穴の外は何が見えるでしょうか。なにも見えなかったら、少しずつ体を上下左右に動かしてみましょう。必ず“穴の向こう”に望遠鏡を向けた天体が映ります。実は、望遠鏡で拡大した天体の像は、一本の光の筋のように接眼レンズに向かって伸びており、その光の筋をまっすぐ瞳でとらえないと瞳に映すことができないのです。しかも、この筋は少しでも体が傾くとずれてしまいます。意外と難しいんですね。また、片目というのも難しいです。しかし、これは様々な身近なもので練習することができます。万華鏡やラップの芯、ペットボトルなど、“片目でちいさな穴をのぞく”という練習をしてみましょう！片目をつぶるのが苦手、という方は視力検査のように手で片目を覆っても大丈夫！もちろん、天文台でも練習できますので、秋はじっくり望遠鏡からみえる宇宙を楽しんでくださいね。

